



プロフィール

管理者

野崎 真里江 (のぎき・まりえ)

釧路市出身。釧路市在住。
釧路江南高校卒。釧路市内のグループホーム、特別養護老人ホームきんれんかの里で介護職として勤務。2014年1月からななかまどの里の管理者を務める。介護支援専門員、社会福祉士の資格取得。
趣味は散歩、山登り。

住み慣れた地域で
自分らしく暮らす

施設のある市町村に住民票のある方が利用できる介護サービス「地域密着型サービス」といいます。

町内にある地域密着型サービスに、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）があります。

グループホーム「ななかまどの里」の野崎真里江管理者にお話を聞きました。

——グループホームとは何ですか。

グループホームとは、認知症の高齢者が共同生活を営む施設です。これまで暮らしてきた地域や家族の近くで安心して暮らせるようにすることがグループホームの目的です。

——グループホーム「ななかまどの里」の特徴を教えてください。

グループホーム「ななかまどの里」は、社会福祉法人孝仁会（当時は旧法人名である釧路悠和会）が2008年（平成20年）1月に閉所した元の国民健康保険診療所の建物を利用して、2009年（平成21年）4月13日に開所しました。

一階と二階にはそれぞれ個室が九室ずつあり、定員は18人です。食堂や浴室も各階ごとに整備しています。広々とした談話室もあります。食堂や浴室などは共有スペースですが、部屋は個室なのでプライベートな空間は確保されています。

——現在（8月31日現在）の入居状況はどのようになっていますか。

現在は18人が入居していますが、認知症の程度や介護度はさまざまです。介護職員が常駐し、入浴や排泄、食事といった介護をしています。

——ななかまどの里ではどのような取り組みを行っていますか。

現在職員は17人おり、シフトを組んで24時間体制で対応しています。入居者ができる範囲で炊事や洗濯、掃除などをこなし、職員がサポートしています。また、地域の方を対象に、認知症などについて気軽に話し合える交流の場「認知症カフェ」を開催しています。

——ななかまどの里へ入居するにはどのような条件がありますか。

認知症があり、要支援2から要介護1〜5の方が対象です。また、共同生活を営むにあたって支障がなく、常時医療行為を必要としない方が条件となります。

利用料は1カ月約13〜14万円です。入居に関する相談などは、コロナウイルス感染症により、現在は電話での対応とさせていただきます。



グループホームななかまどの里

白糠町西庶路西1条南3丁目3番地10

☎01547(6)0150

ホームページ <http://www.k-yuwakai.or.jp/nanakamado.html>

受付時間 24時間365日対応
※事前に電話でご連絡ください